

NIEワークシート
小高～高校

日常生活で買い物に行くのが難しくなる「食料品アクセス問題」が深刻になっています。高齢で外出が難しい人が増えたり、人口減少でスーパーが閉店したりしていることが背景にあります。乗り合いタクシーの運行や移動販売サービスの導入など、自治体が対策に乗り出しています。

海外では「Food Desert」(食の砂漠)と呼ばれ、社会問題になっています。新鮮

で栄養豊富な食品を取れなくなることから、健康問題として議論されることもあります。

農林水産省の農林水産政策研究所は、食料品を扱う店まで500m以上離れていて、車を利用できない65歳以上を「アクセス困難人口」と定義し、このほど調査結果を公表しました。「買い物弱者」は2020年時点で全国に904万人いると推計されます。うち75歳以上は63

%を占めます。904万人という数字は、全人口の約7%が買い物弱者に該当する計算になります。

大型商業施設が郊外にできたため都市部でも規模の小さい店が閉まったり、バスなどの公共交通機関が廃止されたりして、お年寄りが買い物に出られなくなってしまいうケースがあります。単身世帯が増え、地域の助け合いが難しくなっていることも考えられます。

農水省は3月、全国の市町村を対象にしたアンケートの結果を明らかにしました。9割近くの市町村が対

策の必要性を実感し、買い物代行サービスや乗り合いタクシー、移動販売などを活用していると紹介しました。民間事業者にお金を出して、活動してもらうのです。自治体が持つ車をボランティアに貸し出して買物を手伝ってもらうなど、お金をかけない取り組みもありました。

高齢化はどんどん進み、買い物弱者も今後増える見込みです。国はもちろん、自治体も地域を越え、民間事業者を巻き込んだ取り組みがさらに必要となりそうです。

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 傍線部の問題が発生している原因として、本文中では6つあげられています。すべて箇条書きにしましょう。

2 買い物弱者のうち75歳以上は何千人ですか書きましょう。

3 この問題を解決するため、図の3つの自治体対策のほかに、どんな対策が考えられますか。周りの人と相談して考えましょう。

買い物困難高齢者、自治体が対策

1

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

2

千人



食料品
アクセス問題



アクセス困難人口の推移



※農林水産政策研究所の資料から作成。2020年とそれ以前は推計方法が異なる



NIEワークシートのこたえ（2024年4月25日公開）

◆ワークシート「買い物困難高齢者(社会 SDGs11)」 2024.4.24付 夕刊 2ページ 解答例

- 1
 - ① 高齢で外出が難しい人が増えた
 - ② 人口減でスーパーが閉店した
 - ③ 大型商業施設が郊外にできたため近くの、規模の小さい店が閉まった
 - ④ バスなどの公共交通機関が廃止された
 - ⑤ 単身世帯が増えた
 - ⑥ 地域の助け合いが難しくなった
- 2 5695千人
- 3 自由記述